

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！TEL 03
(5950)
1771

豊かな学びと仲間との出会いが待っている 2024年4月入学生(第29期生)募集は最終盤



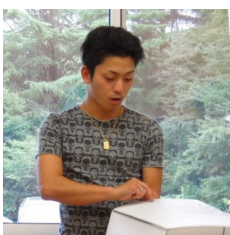
建築の仕事に欠かせない数学。
仲間と一緒に楽しく学べます
(左写真：1年生＝第28期生の
数学授業ではグループ学習)

カレッジのことを知らない方はまだまだたくさんいます。身近な方に口コミで宣伝を。また、インスタなどSNSでカレッジの話題を広げてください。宣伝材料はカレッジのSNSにどんどん掲出していきます。

東京建築カレッジ（以下、カレッジ）は、来期入学生募集活動に全力を挙げています。新規入職者の獲得が業界全体の最重要課題とされる中、入学定員の20人以上の入学生を迎えたいと思います。対象者紹介など、ご協力をお願いします。

◆第3期生 佐藤 安紀子（設計）

卒業して四半世紀、同期は今でも相談できる仲間たち。カレッジで得た同僚や上司でもない横のつながりは、今でも大切な宝です。
(2023年度から設計製図や情報系授業の講師)



◆第21期生 三原 鉄馬（建築大工）

先生方の手厚いフォローで楽しく通える学校です。今の現場では習得が難しい手道具・手刻みも学べます。知識として知る・知らないでは将来大きな差が生まれます。私が一番大切にしている仲間とのつながりも圧倒的に将来に役立つことでしょう。（写真＝在校中の「川崎市立日本民家園」見学&スケッチ授業）

◆第22期生 舞子（建築大工）

やる気が多少足りなくても、きちんと登校を続ければ、勉強の大切さや成長のきっかけがつかめます。思い切って入学を。（写真＝在校中の「技能照査実技試験」終了後の記念写真）



◆第24期生 新田 宰士さん（不動産）

私のような高年齢者にも門戸を開いています。意欲と体力さえあれば、未経験の挑戦者も歓迎。学ぶことに遅いということはありません。あなたが活躍できるステージは必ず見つかるはず。私も応援します。61歳の卒業（修了）生 新田宰士より。（写真＝在校中、江東実習場「実習棟」で）

建築カレッジに入って良かった！
卒業生からのメッセージ

◎第29期生（来春入学生）募集
次回の入学選考会は1月23日（火曜）

☆応募書類の提出締め切りは1月18日（木曜）
授業・学校見学はお気軽に！
就職先紹介を希望の方は至急、応募書類を提出してください。



11月4日（土）、けんせつプラザ東京で開催した東京建築カレッジ第24回公開講座「空き家の再生に挑む 東京建築カレッジの学びを生かして何ができるか」は約80人の参加でした。来場者アンケートの内容評価がとても良かったことも特徴です。

基調講演した野田明宏さん（一級建築士、LLC住まい・まちづくりデザインワークス代表社員）は豊富な実践を紹介し、空き家対策の取り組みは新たな出会いを生み、その地域の新しい時代を切り開くものであることを教えてくれました。多くの来場者に刺激をあたえ、不動産会社社員や「地域おこし協力隊」で活動していた若者、再開発ラッシュが続く都心部の区議会議員などから会場発言があり、空き家問題が現代を生きる多くの人にとって共通課題であることを印象付けました。

アンケートで寄せられた声の一部を紹介します。「今後の自分の仕事に役立ちそう」（50代、大工）、「家づくりだけでなく、まちづくりまで進めていることに感動です」（70代、男性）、「気になっていた空き家の再生について、多くの情報を聞くことができ、とても満足です」（20代、女性）。

卒業生発言コーナーには大工2人、設計1人、各職1人が出演（左端は野田明宏さん）



「空き家の再生に挑む ☆ 私たちに何ができるか」 公開講座で再生事例と建築従事者の役割学ぶ

第28期実習棟実習

1年生の
授業から

墨付け から 刻みへ



新築戸建てを墨付けから体験できる貴重な学習

東京建築カレッジの1年次実技実習のピークが木造軸組み2階建ての住宅を墨付けも刻みも研修生が手掛けて建てる「実習棟実習」です。上の写真は11月25日の授業。土台&二階梁、柱、小屋。大きく3つの班に分かれて作業を進めています。各班ともに墨付けがほぼ終わり、刻みがよいよ始まりです。自分が付けた

墨を頼りに他の班員が刻むことも。間違えないように慎重に取り組んでいます。現代の新築現場はプレカット材の組み立てばかり。また、熟練が必要な箇所は当然ですが新人は担当させてもらえませんが許される建築施工体験の授業はとても貴重です。先生の指導も優しく丁寧なので、未経験者でも

2年生の 授業から

相羽建設
相羽社長
特別授業

人よりも上手くやるか
ひとがやらないことをやるか



安心して学習できます。上棟は1月26日（金）・27日（土）の予定。上棟の日を含めて授業見学を歓迎します。見学希望の方は事前にご連絡ください。

第27期生（2年生）は、「技能照査実技試験」の課題でもある「化粧棒隔木」製作の練習に懸命です。一方、自立できる建築従事者になるための授業も行われています。2015年度

11月24日、2学年合同のハラスメント学習を実施しました。関東学院大学カウンセリングセンターの小林弥生さん（臨床心理士）の「日常生活に役立つ対人コミュニケーションの基礎」。自己診断を求める参加型の授業で盛り上がりました。このテーマの研修生向け授業は初めて。次年度以降、1年次に毎年実施します。

2学年合同で
ハラスメント学習

から若手社員を毎年、カレッジに入学させている相羽建設の相羽健太郎社長の講義もその一つです（左上写真11月23日）。相羽社長は、自分の歩み、会社経営の方針を語りかけるように説明、「（仕事は）人よりも上手くやるか、ひとがやらないことをやるか。どちらしかない」と2年生を激励しました。